

第1回審議会で概要説明

生涯学習基本計画(H27策定)

基本理念 たんばにひろげる まなびの輪
基本目標 「まなび人を増やそう」
「まなび力を育てよう」
「まなび里をつくろう」

知識循環型生涯学習の推進

市民が主体的に学び、学んだ成果をまちづくりの実践に生かし、実践の中から生じた新たな課題へと挑戦する。

第1回審議会で概要説明

社会教育法の改正

「社会に開かれた教育課程」の実現に向けて、学校は地域との連携・協働を一層進めていくことが重要であり、地域においても学校と連携・協働してより多くの地域住民等が子どもたちの成長を支える活動に参画するための基盤を整備していくことが重要である。

第1回審議会委員長講義

国が示す社会教育(生涯学習)の方向性

H30中教審答申概要
「社会教育」を基盤とした、人づくり・つながりづくり・地域づくり
(学びと活動の好循環)
・持続可能な社会づくりを進めるために、住民自らが担い手として地域運営に主体的に関わっていくことが重要である。
・誰もが生涯にわたり必要な学習を行い、その成果を生かすことのできる生涯学習社会の実現へ向けた取組が必要である。

↓
「開かれ、つながる社会教育の実現」
・住民の主体的な参加のためのきっかけづくり
・ネットワーク型行政の実質化
・地域の学びと活動を活性化する人材の活躍

第1回審議会で資料提示

国が示す具体的な方策(H30中教審答申概要)

「社会教育」を基盤とした、人づくり・つながりづくり・地域づくりに向けた具体的な方策

・学びへの参加のきっかけづくり
・多様な主体との連携・協働の推進
・多様な人材の幅広い活躍の推進
・社会教育の基盤整備と多様な資金調達手法の活用等

第1回審議会
5/21

第1回審議会で概要説明

社会情勢の変化

・人口減少時代
・人生100年時代
・Society5.0(人間中心の社会)
・SDGs(持続可能な開発目標)
・社会的孤立の拡大等々

第2回審議会事務局説明

市民アンケートの結果

【回答者】737人【回答率】36.9%
男性280人、女性420人、その他37名
当初(H25)【回答者】935人

第2回審議会教育委員会説明

丹波市が進めるコミュニティ・スクール

市民総がかりの教育の実現に向け、学校は「開かれた学校」から更に一歩踏み出し、目標やビジョンを地域住民や保護者と共有し、地域と学校が一体となって子どもたちを育む「地域とともにある学校」へ転換していくことをめざしている。
・各校区に学校教育と地域活動や市民活動のつなぎ役となる「地域学校協働活動推進員」を配置する。
⇒学校を核として、地域住民がつながり、子育てを軸に地域、保護者、学校が協働して取り組むことは、地域の活性化や持続可能な丹波市の実現につながる。

第2回審議会WS

第2回審議会WS

「未来ある子どもたちのために私ができること」
【参加者】審議会委員、まちづくり指導員、高校生、市職員

4班に分かれて意見交換する。

【ねらい】

「まなび里」を、「まなび人」が増えて「まなび力」が培われた結果として(自然に)できあがるものとするのではなく、「まなび力」を発揮して、「まなび里」を運営する人材・組織・仕組みをつくり、「まなび人」を増やす「機会」という視点から考える。

《セッション1》

①地域の中で、触れ合う・学びあう「機会」があるか。それはそのようなものか。
②それらの「機会」に改善すべき課題はあるか。
③「まなび里」として結実する可能性はあるか。

《セッション2》

①「まなび里」に多様な「まなび人」が参加でき、それぞれが役割をもって活動できるようにするには、どうすればよいか。
②そのための「まなび力」=人材、組織、仕込みは、どんなものが求められるか。
◆人 材:私は何ができるか。
◆組 織:私が頼り、支えてくれるのはどんな仲間か。
◆仕組み:人材や組織がたんばの里で有機的に機能する仕組みはどんなものか。

第2回審議会
7/31

第3回審議会協議内容

現時点における評価

1 まなび人をつくろう

生涯学習に関心がある割合が、わずかではあるが増加していること、また、生涯学習に取り組んでいる人は、自らの目的に沿った学習に取り組んでおり、取り組むことによる自分自身の変化にも気づいていることから、生涯学習に取り組む「まなび人」の成果が表れている。しかしながら、仕事、育児に時間を割いているため、学習できない人やきっかけがつかめないという人も多く、あらゆる世代において、学習に取り組みやすい内容や仕組みづくりが必要である。

2 まなび力を育てよう

生涯学習を通じて身についた知識・技能や経験の生かし方は、引き続き、個人的なものにとどまっている傾向にあるが、地域や社会での活動に生かしている人も少なくない。
しかしながら、身についた知識・技能や経験を仕事や地域活動に生かす方法として、「学習内容を共有する機会や場の提供」や「活動を展開する機会を提供してくれる仕組み」という回答が多いことから、多様かつ特色ある教育資源を有するNPO等との連携・協働を推進し、学びと活動をつなげていく必要がある。

3 まなび里をつくろう

市民が意識している地域の課題は、「要介護高齢者の生活支援」、「住民同士の助け合いや地域交流」、「子育て支援の充実」など、市民生活に直結するものであり、将来への不安も感じ取れる。そういった課題を解決する方法として、「自治会や自治協議会などの活動」、「住民同士の助け合いや地域交流」という回答が多いことから、自分たちの活動によって、様々な課題を解決しようとする意識は高いと言える。

地域課題を解決する活動を活発にするためには、地域活動を行う人材や組織、仕組みづくりが必要であり、行政や市民活動団体など多様な主体との連携・協働が必要である。

【人口減少時代に向けた方向性】

・学びへの参加のきっかけづくり
・多様な主体との連携・協働
・学校教育と社会教育の連携・協働

第3回審議会協議 その2

課題解決に向けた具体的な解決策について

市民アンケートから見た現状と課題とその他委員から意見のあった課題の解決策を協議する。

【解決策を導き出すアプローチ】

①「まなび力」をいかにして「まなび里」につなげるのか

生涯学習は、単発で学ぶのではなく、継続して学ぶ必要がある。ふるさとで暮らしていくため、ふるさとを持続させるために学び続ける。学び続けるための課題は何なのか。課題を解決する方法は何なのか。

②未来ある子どもたちの将来を考えたまちづくり

(例)コミュニティ・スクールに関わる大人をいかに増やすのか。第2回審議会WSのおさらい

第3回審議会
10/3

第4回審議会

生涯学習基本計画後期計画(R2～R6)

【基本理念】
たんばにひろげる まなびの輪
【めざす市民像】

【めざすまちの姿】

【基本目標】
「まなび人を増やそう」、「まなび力を育てよう」、
「まなび里をつくろう」

・
・
・
【目標達成のための課題】
・丹波市における課題
①「まなび力」をいかにして「まなび里」につなげるのか
②未来ある子どもたちの将来を考えたまちづくり

【課題解決に向けた具体的な施策】
・丹波市における課題解決施策

第4回審議会
11月下旬